

三鷹市立中原小学校 令和5年度【道徳】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体で色々な考えを共有する時間が確保できている。 ○自分の考えを発表する児童が増えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自分事としてとらえるところまでいけない児童がいる。 ②友達の見聞き、考えを広げたり深めたりすることができない児童が多い。 	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達の見聞き、ペアで考えを伝え合う時間を取り入れたことで、考えをもつことができるようになった児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手を見て、発言を聞いて考えることに関しては個人差が大きい。興味をもって聞くことができるように、日常的な場面から興味をもちやすい導入や資料を用意して、一人一人が考える場面を作っていくとよい。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から、登場人物の気持ちを想像して考えることができるようになり、書いたり伝えたりできる児童が増えた。 ○自分の考えをもつことができるように考える時間を確保できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資料によって、興味ももてるもの、もてないものの差が大きい。提示の工夫をしていく。 ②自分の意見を言って終わりになってしまう、友達の見聞きを聞いて、自分の意見と比べるなどがまだ出来ている児童が少なくない。 ③自分のこと、自分たちのこととしてとらえ、日常生活と照らし合わせて考えられている児童は少ない。 	
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料と日常生活の場面を繋げて考えることができ、そこから道徳的価値を考えようとする態度があった。 ○ペアやグループで意見交換をすることで、多様な意見を受け入れる姿勢が育った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや意見を出すのが難しい児童がいたため、話し合いの仕方や意見交換を他の教科でも指導し、自分の意見をもてるようにする。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から登場人物の気持ちに迫って共感的に寄り添って考えたり、自分ならどうするか問題の解決について考えたりすることができる。 ○友達の見聞きを肯定的に聞くことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業で考えたことを実生活に反映させ、自己の生き方を見直そうという意識が低い。 ②友達の見聞きや考えを素直に聞くことができるが、自分の考えをより多角的・多面的に捉え直すことが難しい。 	
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○役割演技や聴写、再考の場面を取り入れることで、多面的な考えをもち、深い学びをすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳的価値については授業の場面のみならず、常に考え、新しい気付きが得られたことを評価していくことも必要である。 ○場面共有でより多角的に捉えられるよう支援をする必要がある。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み、道徳的価値を考えようとする態度は育っている。 ○役割演技を取り入れることで、登場人物の気持ちを考え、発表しようとする意欲につながっている。 ○自分の考えと、他の人の考えを比べ、他の人の意見も共感的に受け止めることができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の中の話でしか捉えられず、自己を見つめ、これからの自分の生き方について考えるところまでは難しい児童もいる。（ワークシートに記入することが難しい。） 	
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道徳で考えたり学んだりしたことを道徳の時間だけに限らず、各教科や特別活動などで活用したり実践したりすることができるようにカリキュラムマネジメントを考えられた。 ○より様々な考えや意見を出し合い、考えを受け入れられるように、対話やグループで伝え合ったり話し合ったりする時間を確保できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料の中の話だけでなく、自分事として捉えられるような手立てや指導が不十分だった。 ○多面的・多角的に考えられるような、葛藤場面を設定した授業展開が足りなかった。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み、道徳的価値を考えようとする態度が育っている児童が多い。 ○自分の考えと、他の人の考えを比べ、他の人の意見も共感的に受け止めることができる児童が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業で学習した道徳的価値については、資料の中の話でしか捉えられず、これからの自分の生き方について考え、日常生活に生かそうとする児童は少ない。 ②多面的・多角的に考えることが難しい。 ③友達の見聞き、自分の考えを深めることができている児童とそうでない児童の差が大きい。 	
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループで話し合い、考えを共有するだけでなくそこから考えを深めるような時間を設定したことで、考えが深まっている児童が数名できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業で学習した道徳的価値を日常生活で生かそうとしている児童は少ない。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読んだり、友達と話し合ったりすることで自分の考えをもつことはできている。 ○友達の見聞きやクラスでの交流を通して多様な考え方があがることに気付きつつある。 ○友達の見聞きから、多面的・多角的に考えることがまだ難しい児童が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①友達の見聞きや考えをヒントにして自分の今後や成長につなげることがまだ難しい。 ②授業で学習した道徳的価値を日常生活で生かそうとしている児童が少なくない。 ③多面的・多角的に考えることが難しい。 	